

## 令和2年度 事業報告

自 令和 2年 4月 1日  
至 令和 3年 3月 31日

社会福祉法人明和町社会福祉協議会

## 目 次

### I. 令和2年度社会福祉事業報告

#### 1. 法人運営事業

- 1-①. 理事会
- 1-②. 評議員会
- 1-③. 主な社協事業の状況
- 1-④. 職場内会議・研修

#### 2. 社会福祉事業の普及啓発

- 2-①. 地域福祉（活動）計画の推進
- 2-②. 地区福祉委員会の活動助成（自治会長・民生児童委員）
- 2-③. ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯の交流（おでかけ交流会）
- 2-④. ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯等への歳末見舞い
- 2-⑤. 広報誌の発行
- 2-⑥. 社協ふれあい祭りの実施
- 2-⑦. 明和町社会福祉協議会会长表彰

#### 3. 各種運動の推進・寄附金

- 3-①. 日本赤十字社募金運動
- 3-②. 社協会員増強月間
- 3-③. 赤い羽根共同募金運動
- 3-④. 歳末たすけあい運動
- 3-⑤. 寄附金（社協・ありんこ）

#### 4. 福祉用具等の貸出に関する事業

- 4-①. 福祉機器等の貸出（ベッド・車いす）
- 4-②. バザー用品等の貸出
- 4-③. 祭壇の貸出事業（祭壇・天幕・鯨幕）
- 4-④. 地域コミュニティ一備品貸出事業

#### 5. 地域支え合い体制づくり事業

- 5-①. ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯等の実態調査事業
- 5-②. 明和町サロン支援事業
- 5-③. 介護支援ボランティア活動推進事業（高齢者有償ボランティア活動ポイント支援事業）
- 5-④. めいわサポーター【めいサポ】活動推進事業
- 5-⑤. 配食サービス事業
- 5-⑥. 災害ボランティアの育成

## 6. 介護者支援に関する事業

- 6-①. 家族介護者支援対策事業（低所得者紙おむつ券給付事業）
- 6-②. 寝たきり高齢者等紙おむつ券給付
- 6-③. 重度障がい者日常生活用品（紙おむつ券）給付
- 6-④. 生活保護受給者食事料金援助事業
- 6-⑤. 家族介護教室

## 7. くらしの相談・支援事業

- 7-①. コミュニティソーシャルワーカー（生活支援コーディネーター）の配置
- 7-②. 福祉なんでも相談（社協の総合相談）
- 7-③. 成年後見制度に関する事業
- 7-④. 日常生活自立支援事業（権利擁護）
- 7-⑤. 明和町生活困窮者自立支援事業
- 7-⑥. みえ福祉の「わ」創造事業
- 7-⑦. 生活福祉資金の貸付
- 7-⑧. 地域福祉金庫の貸付

## 8. 福祉教育に関する事業

- 8-①. umouプロジェクト
- 8-②. 福祉協力校の設置
- 8-③. 福祉体験教室
- 8-④. ボランティア・サマースクール

## 9. ボランティアセンター運営事業

## 10. 一般介護予防事業

- 10-①. えんがわ教室
- 10-②. 筋力・脳力あっぷ教室

## 11. 地域生活支援事業（障害者総合支援法）

- 11-①. 手話奉仕員養成研修事業

## II. 令和元年度各事業利用実績

1. 居宅介護支援事業プラン作成実績
2. 高齢者通所介護事業利用実績
3. 障がい者福祉サービス事業（ありんこ）利用実績
4. 地域活動支援センター事業利用実績
5. 指定特定相談支援事業所サービス等利用実績

# 令和2年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会

## 事業報告

### I. 令和2年度社会福祉事業報告

#### 1. 法人運営事業

##### 1-①. 理事会

開催日	議案・承認
令和 2年 5月 27日	第1回（書面による決議） ① 社会福祉法人明和町社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦及び、評議員選任・解任委員会の招集について ② 令和2年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会第1回評議員会の開催について 決議があったとみなされた日 令和2年6月1日
6月 11日	第2回（書面による決議） ① 令和元年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会事業報告について ② 令和元年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会収支決算認定について ③ 社会福祉法人明和町社会福祉協議会職員給与規程の一部改正について ④ 社会福祉法人明和町社会福祉協議会臨時職員等就業規程の一部改正について ⑤ 令和2年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会第2回評議員会の開催について ⑥ 専決処分した事項の承認について 令和2年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会第1号収支補正予算 決議があったとみなされた日 令和2年6月24日
令和 3年 1月 5日	第3回（書面による決議） ① 専決処分した事項の承認について 令和2年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会第2号収支補正予算 ② 社会福祉法人明和町社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦及び、評議員選任・解任委員会の招集について ③ 令和2年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会第3回評議員会の開催について 決議があったとみなされた日 令和3年1月19日
3月 24日	第4回（書面による決議） ① 専決処分した事項の承認について 令和2年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会第3号収支補正予算 ② 令和3年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会事業計画について ③ 令和3年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会収支予算について ④ 社会福祉法人明和町社会福祉協議会職員就業規程の一部改定について

	<p>⑤ 社会福祉法人明和町社会福祉協議会臨時職員等就業規程の一部改定について      ⑥ 令和2年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会第4回評議員会の開催について      決議があったとみなされた日 令和3年3月31日</p>
--	---

## 1-②. 評議員会

開催日	議案・承認
令和 2年 6月 4日	<p>第1回（書面による決議）      ① 社会福祉法人明和町社会福祉協議会理事の選任について      決議があったとみなされた日 令和2年6月10日</p>
6月 24日	<p>第2回（書面による決議）      ① 令和元年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会事業報告について      ② 令和元年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会収支決算認定について      ③ 社会福祉法人明和町社会福祉協議会職員給与規程の一部改正について      ④ 社会福祉法人明和町社会福祉協議会臨時職員等就業規程の一部改正について      ⑤ 専決処分した事項の承認について      令和2年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会第1号収支補正予算      決議があったとみなされた日 令和2年7月8日</p>
令和 3年 1月 21日	<p>第3回（書面による決議）      ① 専決処分した事項の承認について      令和2年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会第2号収支補正予算      ② 社会福祉法人明和町社会福祉協議会理事の選任について      決議があったとみなされた日 令和3年2月4日</p>
3月 31日	<p>第4回（書面による決議）      ① 専決処分した事項の承認について      令和2年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会第3号収支補正予算      ② 令和3年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会事業計画について      ③ 令和3年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会収支予算について      ④ 社会福祉法人明和町社会福祉協議会職員就業規程の一部改定について      ⑤ 社会福祉法人明和町社会福祉協議会臨時職員等就業規程の一部改定について      決議があったとみなされた日 令和3年4月7日</p>

### 1-③. 主な社協事業の状況

開催日	事 項	開催場所
令和 2年		
5月 28日	監事監査	明和の里
9月 16日	明星小学校福祉体験教室	
24日	家族介護教室①（認知症予防）	いつきのみや地域交流センター (オンライン開催)
10月 23日	三重県社会福祉大会	
27日	家族介護教室②（日常の整容、公衆衛生、エンディングまで）	いつきのみや地域交流センター
11月 25日	家族介護教室③（認知症の正しい理解、接し方）	(新型コロナ感染拡大により資料配布のみ)
令和 3年		
1月 18日	上御糸小学校福祉体験教室	
3月 11日	下御糸小学校福祉体験教室	
3月 23日	近鉄明星列車区福祉体験教室・意見交換会	

### 1-④. 職場内会議・研修

会議・研修名・講師	参加職員
<b>●職場内会議</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営会議（定例：12回、臨時：7回）</li> <li>・感染症対策委員会（全8回）</li> </ul>	会長・局長・次長・課長 会長・局長・次長・課長・担当職員
<b>●職場内研修</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策研修</li> <li>・新型コロナウィルス感染予防研修 (動画視聴)</li> </ul>	全職員

## 2. 社会福祉事業の普及啓発

### 2-①. 地域福祉（活動）計画の推進

事業目的	社会福祉協議会は、地域に暮らす人々がそれぞれに役割を持ち、お互いに支え合いながら、その人らしく活躍できる地域社会を育成し、公的なサービスの利用だけでなく、地域住民が得意分野を活かしながら助け合い暮らすことのできる仕組みを、住民が主役となる「地域福祉活動計画」として策定し、ともすると「他人事」になりがちな地域で起こる日常の出来事を、地域に暮らす人々が「我が事」として主体的に関わっていける仕組みを作っていくとともに、地域の支援と、公的なサービスへのつなぎを含めた「丸ごと」の相談体制の整備を進めていきます。
事業実績	<ul style="list-style-type: none"><li>●地域福祉計画策定・推進委員会、地域福祉活動計画策定・推進委員会 開催なし</li><li>●地域福祉連絡会議 第1回 3月19日<ul style="list-style-type: none"><li>・コロナ禍における令和2年度の相談状況と今後の動向</li></ul></li></ul> <p>出席機関名</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・明和町住民ほけん課 地域福祉係担当</li><li>・明和町健康あゆみ課 まるごと相談支援係担当</li><li>・明和町社会福祉協議会 総務・地域福祉課 地域福祉係担当</li></ul>
事業評価	<ul style="list-style-type: none"><li>●新型コロナウィルス感染症の影響により、地域福祉（活動）計画策定・推進委員会を開催することが出来ませんでした。</li><li>●町の一部の課と社会福祉協議会の担当者で、地域福祉連絡会議を開催することができました。</li></ul>
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"><li>●新型コロナウィルス感染症の影響により、人ととの一定の距離の確保や接触する機会を減らす事を求められるようになり、これまでの形での地域活動やボランティア活動は、開催場所や換気や消毒等感染症予防対策が必要となり、活動時期や活動内容、活動方法など見直す必要があります。</li><li>●本計画内でこの計画を推進していくために、行政担当課と社会福祉協議会の連絡会議を定期的に実施することで、さらなる連携と協力を図り、具体的な活動を見直す必要があります。</li></ul>

## 2-②. 地区福祉委員会への活動助成（自治会長・民生児童委員）

事業目的	地域の生活環境のなかで、個人の力ではどうにも解決できない問題を、住民一人一人が地域ぐるみで実践するための組織づくりを行います。						
	配分金（円）						
事業実績		大淀	上御糸	下御糸	斎宮	明星	合計
	令和2年度	63,275	73,925	69,230	106,220	87,350	400,000
	令和元年度	62,930	75,140	70,565	107,135	84,230	400,000

## 2-③. ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯の交流（おでかけ交流会）

事業目的	日帰り旅行を行うことにより、日々の暮らしの様子や生活課題はないかなどの確認や、旅行を楽しみに生きがいを持って生活していただくことを目的としています。						
	参加人数（人）						
事業実績		大淀	上御糸	下御糸	斎宮	明星	合計
	令和2年度						
	令和元年度	21	6	4	38	30	99
事業評価	●例年鳥羽方面への日帰り旅行を実施しており、日頃遠出や買物の機会が少ない参加者に喜ばれ、地域の方との交流も楽しんでいただいていましたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止しました。						
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●安全かつ安心して参加していただけるよう、新型コロナウイルスやその他の感染症の推移を見守りながら実施の有無を検討する必要があります。</li> <li>●実施するにあたっては、感染予防の対策が充分に行える環境である必要があります。</li> <li>●70歳以上のひとり暮らし、高齢者世帯を対象としていますが、その中でも自力でバスの乗降ができる等、参加条件が一部限定されるところがあります。</li> </ul>						

## 2-④. ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯等への歳末見舞い

事業目的	ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯などの方々に個別訪問を行い、見舞品を配布しつつ安否確認を行います。				
	配布数（個）				
事業実績	対象者	要援助世帯	ひとり暮らし高齢者	高齢者世帯	合計
	令和2年度	46	584	528	1,158
	令和元年度	49	537	494	1,080

事業評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>●年々ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯とともに増加傾向です。</li> <li>●見舞品の配布をきっかけとした訪問活動を通じ、対象高齢者の安否確認、現況把握ができ、民生委員の方との信頼関係構築につながっています。</li> <li>●新型コロナウィルス感染症の影響により、地域の繋がりが少くなる中、貴重な訪問活動の機会となりました。</li> </ul>
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●今後も対象となる世帯は引き続き増加傾向をたどると予想され、募金額の減少に伴い、財源の確保も検討する必要があります。</li> <li>●対象者の中には事業目的に理解が得られず、調査に協力が得られないケースがあり、把握出来ていない対象者もあります。</li> <li>●要援助者世帯について、プライバシーの問題が生じ、把握が難しいケースがあります。</li> </ul>

## 2-⑤. 広報誌の発行

事業目的	住民の皆さんに、社協の様々な活動内容をご理解いただくとともに、地域福祉活動に積極的に参加するための情報提供を行います。
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「社協だより」 年4回発行・社協の活動紹介 基本理念、事業実施計画（重点取り組み項目）、収支予算、収支決算、町内企業CSR活動紹介（近畿日本鉄道 明星列車区）、地域活動紹介（北野「ささえあい」活動、竹神社氏子総代の皆さん）、功労者表彰（全社協、県身体障がい者福祉大会、明和社協、全社協）、寄附金・寄附物品報告、募金活動報告・御礼（日本赤十字社社資、福祉の町づくり資金、赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金）、福祉車両寄附</li> <li>●「広報めいわ」に「社協だより」コーナーを掲載 サロン紹介（有爾中地区・緑の会）、北野「ささえあい」活動、OBENTO PROJECT（お弁当支援）、生活困窮者一次相談、UMOUプロジェクト、功労者表彰（県社協）、日赤社資・福祉の町づくり資金活動御礼、筋力脳力あっぷ教室、ひとり暮らし高齢者等実態調査、ボランティアセンターだより「てとてを」（明清会、カントリーずう）</li> </ul>

## 2-⑥. 社協ふれあい祭りの実施

事業目的	日頃、ボランティアなどに従事している各福祉団体や、ボランティア団体、社会福祉施設に参画いただき協同の輪をひろげるとともに、福祉に関わる機会の少ない地域の皆さんに、楽しみながら福祉を身近に感じていただける機会をつくります。地域の皆さんと交流し、社協が実施している事業や、ボランティア活動、募金運動など、地域の皆さんにひろく福祉について関心を持っていただく事を目的としています。
------	---

令和2年度 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウィルス感染症の影響により中止。</li> </ul>
令和元年度 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会長表彰並びに感謝状授与式</li> <li>・ステージ発表【明和中学校(吹奏楽部)、ゆたか保育園盆踊り、ぱる♪、FreeZ NOTE、輝風、ありんこ、業平夢太鼓、北野友楽クラブ、フィナーレ(みんなでうらじや音頭)】</li> <li>・子ども食堂支援募金活動(明和中学校ボランティア部)</li> <li>・自立相談支援事業啓発(三重県生活相談支援センター)</li> <li>・UMOUプロジェクト啓発</li> <li>・福祉スタンプラリー【手話体験、点字体験、パラスポーツ体験(車椅子バスケ、フライングディスク)】</li> <li>・ふるまい【ながしそうめん】</li> <li>・缶ぱっくり作りコーナー</li> <li>・縁日コーナー【輪投げ、魚釣ゲーム、ストラックアウト、おじやみ投げ、ゲーゴル、玩具金魚すくい】</li> <li>・ちびっこ子ども広場【遊び場、イラストコーナー、鉄道模型操作体験、保護者向けハンドマッサージ】</li> <li>・ウォーリーを探せ(イベント回りゲーム)</li> <li>・夜店【ドリンク、ポップコーン(わだち)・綿菓子(FreeZ NOTE)・焼きそば(エヌベントジャパン株式会社)】* ( )内、協力団体</li> <li>・バルーンアート</li> <li>・菓子まき</li> <li>・café 茶々(ありんこ)販売【カレーライス、かき氷、唐揚げ、サーティアンダギー、フランクフルト】</li> <li>・販売【母子寡婦福祉会、南勢就労支援センター、第二南勢就労支援センター、さにいさいど、あざふるさと、ベーグルファンズ、ぎゅーとら、ありんこ】</li> </ul>
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>●今年度は新型コロナウィルス感染症の影響により、感染拡大防止の観点から中止を余儀なくされました。</li> <li>●平成30年度より開催時期を夏にし、夕方から夜にかけて開催することに定着しつつあり、また年々多くの協力団体や企業、学校からもボランティアや参加にご協力いただきました。</li> <li>●地域の皆さんにも、社協「ふれあい祭り」として毎年交流を楽しんでいただき、日頃福祉に触れる機会の住民の皆さんへの啓発の場としていましたが、啓発の機会が減ってしまいました。</li> <li>●ステージ発表を通して、多くの団体の日頃の活動の成果を披露する場としていただいていましたが、成果発表の場が失われてしまいました。</li> <li>●多くの団体や企業、学生のボランティア体験や福祉体験の場として活用していましたが、ボランティア体験や福祉体験の機会が減ってしまいました。</li> </ul>

	●社協「ふれあい祭り」の中で功労者表彰を実施する事で、多くの地域住民の方に直接ご紹介する機会としておりましたが、紹介する機会が失われてしまいました。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●今年度も引き続き、新型コロナウィルス感染症の影響が予想され、開催についても内容や形式等十分な検討が必要です。</li> <li>●開催中止となった場合、ボランティア団体や福祉団体の成果発表の場や、多くの団体や企業、学生のボランティア体験や福祉体験の場、地域住民の皆さんへの福祉啓発の場が失われたり、機会が減ってしまうため、その代わりとなる発表や活動の場を検討する必要があります。</li> </ul>

## 2-⑦. 明和町社会福祉協議会会長表彰

事業目的	地域福祉の推進に多年活動を続け、その功績があった方、その他広く福祉の増進に功労のあった方に対し、会長がこれを表彰し、また感謝の意を表し、その功績を讃えるとともにあわせて地域福祉活動の発展に寄与することを目的としています。		
事業実績	令和2年度	会長表彰・感謝 地域福祉功労者 1名 地域福祉活動寄付功労者 1名	
	令和元年度	会長表彰・感謝 地域福祉功労者 5名 ボランティア活動功労者 1団体 地域福祉活動協力功労者 1名	

## 3. 各種運動の推進・寄附金

明和町	令和2年度	96
自治会数	平成元年度	96

## 3-①. 日本赤十字社募金運動（1世帯 500円程度）

区分		一般社資 (自治会数)	合計
募金額 (円)	令和2年度	1,238,210 (71)	1,238,210
	令和元年度	1,341,415 (74)	1,341,415

3-②. 社協会員増強月間 (一般 300円 特別 1,000円程度)

区分		一般賛助会員 (自治会数)	特別賛助会員 (件数)	合計
募金額 (円)	令和2年度	838,454 (68)	0 (0)	838,454
	令和元年度	932,859 (73)	0 (0)	932,859

3-③. 赤い羽根共同募金運動 (1世帯 500円 法人 3,000円程度)

区分		一般募金 (自治会数)	法人募金 (法人数)	職域募金	イベント募 金・街頭募 金・募金付自 販機 他	羽毛 回収	合計
募金額 (円)	令和2年度	1,136,950 (67)	423,240 (116)	59,546	69,250	34,546	1,723,532
	令和元年度	1,107,450 (68)	314,000 (118)	39,242	243,416	41,860	1,745,968

- ・職域募金（明和町役場・明和消防署・百五銀行㈱・河田フェザー㈱・三重電子㈱・明和町社会福祉協議会・斎宮歴史博物館・埋蔵文化センター）
- ・イベント募金・募金付自販機・街頭募金（スーパーサンシ明和店・ぎゅーとら明和店）

3-④. 歳末たすけあい運動 (1世帯 200円 法人 1,000円程度)

区分		一般募金 (自治会数)	法人募金 (法人数)	その他 (個人・職域)	合計
募金額 (円)	令和2年度	678,720 (71)	120,000 (111)	14,490	813,210
	令和元年度	712,240 (70)	123,000 (114)	25,000	860,240

3-⑤. 寄附金 (社協・ありんこ)

区分		件数(件)	金額(円)・物品名
寄附金	令和2年度	76	681,348
	令和元年度	19	452,232

寄附物品	令和2年度	9 6	新米 60 kg×2、白米 30 kg、玄米 90 kg、もち米 30 kg、不織布マスク 2,000 枚、布マスク 22 枚、羽毛布団 1 組、白タオル 108 枚、尿取りパット、芽ひじき 12 kg、豚肉 800 g、カットわかめ 1 kg、しそひじき 750 g、緑茶 300 g×7、大根、キャベツ、じやが芋、ブロッコリー、白菜、苺、蕪 他
	令和元年度	1 6	新米 60 kg、白米 30 kg、玄米 90 kg、絵本その他書籍 200 冊、老人車 1 台、クリスマスプレゼントお菓子 60 セット、紙パンツ、花の寄せ植え、胚芽精米 5 kg×1 他食料品、お菓子 48 箱 他、手編みの手袋、マフラー 他

#### 4. 福祉用具等の貸出に関する事業

##### 4-①. 福祉機器等の貸出（ベッド・車いす）

事業目的	日常生活に支障をきたしている方に対して、福祉用具を貸出することにより、在宅介護の支援を行います。			
事業実績	種 別	保有数（台） (貸付数：3月末)	延べ申請数（台）	
	車椅子	1 2 (3)	令和2年度	2 1
			令和元年度	4 0
	ベッド	3 (なし)	令和2年度	0
			令和元年度	1

##### 4-②. バザー用具等の貸出

事業目的	野外活動や町内各種イベント及び祭りを開催する団体・グループ・自治会などに貸出をし、その収益を福祉のまちづくり資金や各種募金活動の資金にすることを目的としています。			
事業実績	令和2年度	貸出件数（件）		
		焼き鳥器···0	テント····0	わたがし機···0
		焼きそば機···0	かき氷機····0	たこ焼き機···0
		ポップコーン機··0		
	令和元年度	焼き鳥器···2	テント····19	わたがし機···6
		焼きそば機···4	かき氷機····16	たこ焼き機···0
		ポップコーン機·10		

##### 4-③. 祭壇の貸出事業（祭壇・天幕・鯨幕）

事業目的	町民の便宜を図り、併せて生活改善の啓発に役立てることを目的としています。		
事業実績	保有数（台） (貸付数：3月末)		延べ申請数（台）
	2 (なし)		令和2年度 0
			令和元年度 0

#### 4-④. 地域コミュニティ一備品貸出事業

事業目的	住民で組織する団体等が行う地域社会活動を支援し、地域コミュニティーの活性化と自主的な社会貢献活動を促進するため、地域コミュニティ一備品を貸出します。		
事業実績	貸出件数（件）		
	令和2年度	公式わなげセット・・・1 ケンコーボッチャセット・1	ディスグッター9・・・1 安全ソフトダーツ・・・1
	令和元年度	公式わなげセット・・・3	ディスグッター9・・・1
事業評価	●今年度は自治会のイベントは開催が難しく活用されませんでしたが、小学校の学級レクリエーションや子ども食堂のクリスマスイベントでも活用されました。		
今後の課題	●サロンへの訪問時に障がい者も共に楽しめる「ボッチャ」などの競技を実際に紹介・体験してもらい、競技への興味を持つてもらう働きかけが必要です。 ●いきいきサロン支援事業や自治会のイベントでのニーズを反映して、貸出物品メニューの再検討をする必要があります。		

### 5. 地域支え合い体制づくり事業

#### 5-①. ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯等の実態調査事業

事業目的	民生委員・児童委員と協働し、訪問、声かけ、安否確認などの活動を通じて、担当区域内の住民の実態やあらゆる福祉ニーズを日常的に把握します。また地域の行事や会合などにも参加し、情報収集に努めます。			
事業実績	要援助世帯	ひとり暮らし高齢者	高齢者世帯	合計
	令和2年度	46	589	528
	令和元年度	49	540	494
事業評価	●年々対象者となる世帯は増加傾向です。今後も増加すると予想されます。 ●要援助世帯（ねたきり高齢者・認知症高齢者・ひきこもりその他援助が必要と思われる世帯）においては昨年度と世帯数の変化はみられませんでしたが、今後増加傾向をたどると予想されます。			

今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●対象となる世帯は年々増加しており、引き続き増加傾向をたどると予想されます。</li> <li>●対象者の中には事業目的に理解が得られず、調査に協力が得られない方があり、状況を把握出来ていない対象者もあります。</li> <li>●要援助者世帯についても個人情報保護の問題以外にも、プライバシーに配慮した調査を実施する必要があり、把握が難しいケースが出てくると予想されます。</li> </ul>
-------	---

## 5-②. 明和町サロン支援事業

事業目的	高齢者の外出を促し、集える拠点として公民館を整備し、ボランティアを中心としたサロン活動を行うことで介護予防につなげるとともに、世代を超えた地域住民同士の支え合いの体制を構築することを目的とした事業の活動支援を行います。		
事業実績	開催回数	活動時間	活動内容
令和2年度 (59会場)	月10回以上：2 週2回：1 週1回：6 月2回：11 月1回：25 その他不定期 ：14	2時間：18 3時間：11 4時間：5 5時間：4 6時間：4 その他：17	カラオケ、ゴーゴー体操、 ラジオ体操、グランドゴルフ、 クロリティー、ペタンク、輪投げ、 ハイキング、脳トレ、講話、 食事会、茶話会、お花見、料理、 忘年会、新年会、子供会への協力、 自治会行事への協力、公園掃除、 墓地掃除、神社境内手入れ、踊り、 囲碁、将棋、麻雀、俳句、手芸、 太極拳、お菓子づくり、地元の歴史を学ぶ、町内バスによる町内観光、健康ひろば、ゴキブリ団子作り、大正琴、マジックの鑑賞、農作業等々
令和元年度 (57会場)	月10回以上：2 週2回：1 週1回：7 月2回：11 月1回：25 その他不定期 ：11	2時間：19 3時間：11 4時間：5 5時間：4 6時間：4 その他：14	カラオケ、ゴーゴー体操、 ラジオ体操、グランドゴルフ、 クロリティー、ペタンク、輪投げ、 ハイキング、脳トレ、講話、 食事会、茶話会、お花見、料理、 忘年会、新年会、子供会への協力、 自治会行事への協力、公園掃除、 墓地掃除、踊り、囲碁、将棋、麻雀、 俳句、手芸、太極拳、お菓子づくり、地元の歴史を学ぶ、町内バスによる町内観光、健康ひろば、ゴキブリ団子作り、大正琴、

				マジックの鑑賞、等々
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生活支援コーディネーターやボランティアコーディネーターが、地区民生委員をはじめとする皆さんにひろく情報収集を行う中で、自主的に集いサロン活動を継続的に実施している所が新規で4つ把握され、また、それぞれのサロン活動の内容に関するご相談等を継続的に受けながら支援を展開する事ができました。</li> <li>●一方で、多くのサロン活動がコロナウイルス感染拡大に伴い自粛となり、部分的に活動再開に向けた支援（感染拡大防止対策等）は実施できたものの、特に老人会を母体としたサロン活動はその多くが休止したままとなっており、効果的な支援が実施できていません。</li> <li>●今年度、新たに2つのサロン活動がいずれも担い手不足を大きな要因として解散に至りました。これに対する有効な支援を見出す事が難しい状況があります。</li> <li>●上記の事象に関連し、昨年度に引き続き、後継者不足や役員の負担等で継続が危ぶまれるサロンが多数存在しており、上記同様、有効な支援を見出す事が難しい状況にあります。</li> <li>●一方で、目的をもって自主的に活動を展開しているサロン活動は、コロナ禍にあっても様々な工夫をしながら早期に活動を再開するなど、サロン活動の活発化を支援する上で明るい材料も発見されています。</li> <li>●各サロンを訪問し、関係性を構築していく中で、助言を求められたり今後の活動展開に関してご相談を頂くなど、それぞれのサロンが継続的に活発化していく為の支援が出来ています。</li> </ul>			
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●カラオケ機器のメンテナンス費用、新曲の購入費など活動費用の捻出に困られているサロンがあり、今後の支援を検討する必要があります。</li> <li>●代表者や役員のみに負担が偏りがちなサロンが多いため、参加者全員で役割分担をしたり、地域のボランティアの力を借りたりして、安定したサロン運営ができるように支援をしていく必要性を感じています。</li> <li>●昨年度も生活支援体制整備事業と連動して、各ボランティア団体や老人会等、サロン活動を展開している住民の方にご参加いただき協議体開催を行い、身近な地域で誰もが気軽に集える場づくりについて協議を行いましたが、今後話し合った内容をどのように具体化させていくかが課題として挙げられます。</li> <li>●引き続き、趣味や関心を持った方々が自治会等の枠を超えて集まる「つどいの場」として開催されるサロンの訪問を継続し、情報提供やコーディネート等、必要に応じた支援に努めます。</li> <li>●特に老人会主催のサロン活動の多くは、世代交代に課題を抱えている事が具体的に掴めきました。単位老人会の活動支援と併せて、次の世代の方を巻き込む方策を住民の皆さんと協議する場をつくる必要性があります。</li> </ul>			

### 5-③. 介護支援ボランティア活動推進事業

(高齢者有償ボランティア活動ポイント支援事業)

事業目的	元気な高齢者が特別養護老人ホーム等でボランティア活動を行うことにより、本人の健康増進や介護予防につなげること、社会参加、地域貢献を通じた生きがいづくりを促進することを目的としています。		
事業実績	登録数	ポイント 転換交付数	活動事業数
	令和2年度 99名	950P	16事業
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>●今年度は新型コロナウィルス感染症の影響で福祉施設でのボランティア活動が実施出来ず、活動が大幅に制限されたためポイント転換交付数が大幅に減少しました。</li> <li>●社協の介護予防教室（筋力脳力あっぷ教室）事業は新型コロナウィルス感染状況により一部日程が休止となりましたが、教室開催時にはサポーターによるボランティア活動の貴重な場となりました。</li> <li>●昨年度より3名の会員が新規に登録されましたが、高齢化により退会する方もみえ、登録者数としては昨年度と同数となりました。</li> </ul>		
事業課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コロナ禍が収束した折には登録ボランティアさん達がまた活躍できるよう、福祉事業所との連絡は密にしておく必要があります。</li> <li>●コロナ禍でもボランティアさんのモチベーションが下がらないような学びの場や交流の機会の提供を検討する必要があります。</li> </ul>		

### 5-④. めいわサポーター【めいサポ】活動推進事業

事業目的	地域のあらゆる住民がそれぞれ役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域コミュニティを育成し、福祉などの地域の公的サービスと協働して助け合いながら暮らすことのできる仕組みを構築することを目的とする。		
事業実績	活動者登録数	利用者登録数	ポイント 転換交付数
	24名	10名	2,920P
令和2年度	地域依頼	<ul style="list-style-type: none"> <li>・草刈 5件</li> <li>・粗大ごみ処理 2件</li> <li>・可燃ごみ 2件（延べ129回）</li> <li>・洗濯機処理 1件</li> <li>・毛布洗濯 1件</li> <li>・エアコンフィルター掃除 1件</li> <li>・雨どいの撤去 1件</li> </ul>	
	社協事業	OBENTO PROJECT 6件 配食サービス 1,152件	

		活動者登録数	利用者登録数	ポイント 転換交付数
		17名	4名	2,080P
令和元年度	地域依頼	・草刈 5件	・可燃ごみ 2件 (延べ34回)	
	社協事業	・子ども食堂 6件	・社協祭り 1件	
		・明和音楽祭 1件	・配食 1,270件	
事業評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>●今年度はケアマネージャー、地域包括支援センターの依頼から活動に結びつくケースや介護予防教室事業の参加者からの依頼もあり、活動件数が増加しました。</li> <li>●活動者が利用者のニーズに対して柔軟に対応していただけています。</li> <li>●OBENTO PROJECT 事業の支援者として活動していただく事が、支援者の方にも地域課題を知っていただく良い機会となっています。</li> </ul>		
事業課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>●利用者の方がサービスを利用する際には、チケット10枚綴2,000円分を購入し利用していただいているが、継続利用がない利用者の方は2,000円分使い切れずチケットが残ってしまっているため、チケット購入について、柔軟な対応が必要です。</li> <li>●家計的に厳しく、一度に2,000円のチケット購入が難しい方がいらっしゃいます。</li> <li>●女性の登録者数も増えてきていますが、活動の場を提供できていない現状です。研修を兼ねた活動を一緒に出来ると、実際の活動時のイメージがしやすいと考える。</li> <li>●継続的に地域での活動者の発掘が必要です。</li> </ul>		

## 5-⑤. 配食サービス事業

事業目的	高齢者の居宅に配食を行うことにより、食生活の改善、健康維持及び配達時の見守りによる孤独感の解消を図るとともに、自立した在宅生活を支援することを目的としています。	
事業実績	延べ利用人数 (人)	
	令和2年度	95
	令和元年度	95
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>●通常、祝日の配食サービスは実施しておりませんが、令和2年度より5月のGWについては、サービスを実施しました。利用者様の栄養状態の維持、御弁当を配達する事で安否確認も実施できました。利用者様にも「よかったです」と喜びの声もいただきました。</li> </ul>	
事業課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●1日に配食できる数量に制限があり、新規で多くの御利用をお受けすることができませんが、現状の配食数を維持しながら事業継続に努めたいと考えます。</li> </ul>	

## 5-⑥. 災害ボランティアの育成

事業目的	災害時、まず自分の周りの方を助けたり、避難所で活躍したりしていただけるボランティアを養成します。普段から防災・災害に対する意識を住民の皆様にも持つていただけることを目的としています。				
事業実績		参加人数			
	令和2年度	災害ボランティア養成講座は 新型コロナウイルス感染防止対策の為中止			
事業評価	●例年3月に実施している災害ボランティア養成講座が、自主防災組織の研修も兼ねているため、対象人数が多数になることもあり、新型コロナウイルス感染防止対策の為、今年度も開催中止となりました。				
事業課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●講座の開催は難しい現状ですが、コロナ禍という新たな課題について「新型コロナウイルス感染防止に努めた災害時の対応」など新たな講座を検討する必要があります。</li> <li>●新型コロナウイルスの感染状況で、直接集合しての講座開催は難しい状況ですが、役場担当課とも相談しながら、講座の企画を早めに計画、実施し、防災意識を維持、向上する必要があります。</li> <li>●参加対象者を登録ボランティアや民生委員等のみに限定する等、対象者を限定した講座の開催等も検討し、参加人数を分けて開催する等検討していく必要があります。</li> </ul>				

## 6. 介護者支援に関する事業

### 6-①. 家族介護者支援対策事業（低所得者紙おむつ券給付事業）

### 6-②. 寝たきり高齢者等紙おむつ券給付

### 6-③. 重度障がい者日常生活用品（紙おむつ券）給付

事業目的	在宅で生活している高齢者や障がい者で、常時紙おむつを必要とされている方の経済負担を軽減することを目的としています。			
事業実績		家族介護者支援 対策事業 (5,000円)	寝たきり高齢者等 紙おむつ券 (3,000円)	重度障がい者 日常生活用品 (3,000円)
	延べ 配布枚数 (枚)	令和2年度	159	67
		令和元年度	186	56
				156

#### 6-④. 生活保護受給者食事料金援助事業

事業目的	生活保護を受給されている方の中で、デイサービス等を利用されている方に介護保険サービス利用者負担の軽減を図ることを目的としています。	
事業実績		延べ助成人数（人）
	令和2年度	88
	令和元年度	102

#### 6-⑤. 家族介護教室

事業目的	家族介護教室の参加者に対して、介護方法や介護予防、介護者の健康づくり等について知識、技術を取得できるようにする。
事業実績	<p>第1回：「家族が元気でいる為の介護予防法」（講義）          株式会社 きらめき介護塾 代表取締役 渡辺哲弘氏          参加者 48名          行政チャンネル放送 10月8日（木）～10月15日（木）</p> <p>第2回：「きれいと元気」（講義）          東員町で理容室「アリス」を営む理容師（納棺師）小山 辰己氏          参加者 40名</p> <p>第3回：「認知症の理解とケア」（新型コロナ感染拡大防止により資料配布のみ）          三重県立こころの医療センター 看護師 山本 孝子氏          参加申込者 50名</p>
事業評価	<p>第1回：令和2年度は新型コロナウィルスの影響により、自治会回覧と介護予防教室参加者やサロン参加者、介護に携わる方への案内のみとしました。感染症対策のため、あらかじめ健康チェックシートを配布し当日持参をお願いしました。</p> <p>認知症に関して皆さん関心度が高く、生活習慣で心掛ける事や、その習慣で認知症は遅らせる事ができる事を学んでいただきました。</p> <p>令和元年度も渡辺先生に講演を行っていただきましたが、今回初めて参加された方も見え、新しい情報を得ていただけたと思います。</p> <p>また、行政チャンネルで放送し、来館することのできなかった方にも学んでいただく事ができました。</p> <p>第2回：理容師であり納棺師である小山先生による講義は、人のエンディングについて考えさせられるものでした。日常で身だしなみを整えることの重要さを参加者の皆さんに知っていただきました。</p> <p>過去に介護を経験された方は、両親等を見送った事を思い出された方も多く、心に残る講演となりました。</p> <p>第3回：新型コロナ感染状況の拡大により講演は中止となりましたが、参加予定者に</p>

	資料配布を行いました。後日アンケート結果より、配布した資料をしっかりと読んでくださっているのがよくわかりました。直接、講演を聞いていただく事が出来ず残念でしたが、講師が事前に詳しい資料を準備してくださり、配布することを了承していただいたので、皆さんのお役に立てた事思います。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●参加者が固定化している部分があり、必要とする方に必要な情報を提供できる場を検討する必要があります。</li> <li>●コロナ禍で大きな声での会話や対面でのグループトークが難しい状況ですが、介護者同士が話し合い出来る場が必要とされています。</li> </ul>

## 7. くらしの相談・支援事業

### 7-①. コミュニティソーシャルワーカー（生活支援コーディネーター）の配置

事業目的	<p>◎あらゆる生活課題への対応 地域住民から寄せられる多様な生活課題を受け止め、地域を基盤にして解決につなげる支援やその仕組み・連携の場づくりを行い、その解決や予防に向けて取り組みます。</p> <p>◎地域のつながりの再構築 民生委員や自治会と協働し、小学校区や自治会などを単位とする小地域における住民主体の福祉活動を一層強化し、地域のつながりの再構築を図り、だれも排除しない地域社会づくりをすすめます。</p>																											
	<p>コミュニケーション</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>来所</th> <th>電話</th> <th>訪問</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域住民 18</td> <td>94</td> <td>632</td> <td>744</td> </tr> <tr> <td>関係機関 124</td> <td>450</td> <td>131</td> <td>705</td> </tr> </tbody> </table> <p>生活支援コーディネーター</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>来所</th> <th>電話</th> <th>訪問</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域住民 16</td> <td>71</td> <td>56</td> <td>143</td> </tr> <tr> <td>関係機関 15</td> <td>69</td> <td>19</td> <td>103</td> </tr> </tbody> </table>					来所	電話	訪問	合計	地域住民 18	94	632	744	関係機関 124	450	131	705	来所	電話	訪問	合計	地域住民 16	71	56	143	関係機関 15	69	19
来所	電話	訪問	合計																									
地域住民 18	94	632	744																									
関係機関 124	450	131	705																									
来所	電話	訪問	合計																									
地域住民 16	71	56	143																									
関係機関 15	69	19	103																									
令和2年度 事業実績	<p>●新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、特に経済的に困窮してみえる住民からの相談が著しく増加した事を受けて、住民ボランティアと共に「OBENTO PROJECT」を立ち上げ、民生委員さんをはじめとする多くの地域住民の皆様や企業から食材等</p>																											
事業評価																												

	<p>の寄付、当該ボランティア活動への参加をいただくなど、支え合いの具体的行動に繋げる事ができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●上記活動を通じて、これまで当協議会として手薄であった児童分野の支援に地域住民と共に着手する事ができ、事業を通じて関係機関との連携体制が構築され、アウトリーチツールと継続的支援の展開方法を確立するに至りました。</li> <li>●明和町サロン支援事業やめいわサポーター活動推進事業と連動させ、生活課題を抱える地域住民へのアプローチが少しずつではありますが、展開出来てきています。</li> <li>●一昨年度から自治会単位での有償ボランティアの組織化を支援してきましたが、今年度一つの自治会で住民主体の生活支援ボランティアが組織化され、自治会内で活躍されています。</li> </ul>
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●少しずつ生活支援サービスが地域で確立されつつありますが、今後多くの地域住民に活用いただく為にも、地域資源の可視化が必要とされています。</li> <li>●生活課題を抱える世帯（者）と地域資源をより広域的且つ効果的につなぐ仕組みづくりが必要とされています。</li> <li>●町内の福祉事業所や企業等との連携体制をさらに強固なものとし、住民主体の福祉活動をバックアップできる仕組みづくりを進める必要があります。</li> <li>●上記課題を解決に結びつける上でも、地域住民をはじめとするあらゆる人・機関が協議できる場を整理し構築していくことが必要とされています。</li> </ul>

#### 7-②. 福祉なんでも相談（社協の総合相談）

事業目的	「日ごろから気になっていること、心配していることがあるが、どこに相談すればよいのかわからない」など、福祉に関することは社協職員が窓口に『なんでも』ご相談をお聞きしています。					
	相談方法	電話	来所	訪問	その他	合計
		16	8	1	0	25
令和2年度 事業実績	相談者	一般住民	民生委員 自治会長	ボランティア 関係	行政	合計
		9	9	2	1	25
		福祉施設 職員	団体関係	その他	えんがわ教室 利用者から	
		1	1	2	0	
	相談内容 (重複あり)	地域生活	地域住民の見守りや支援についての相談（5） 敷地家屋管理に関する相談（2）、家族に関する相談（1）、 ご近所づきあいについての相談（1）、消費相談（2） 自治会役員についての相談（1）			

		ボランティア	活動中止に伴う相談（1）				
		団体活動	民生委員の活動についての相談（1）				
		福祉サービス利用	介護保険制度の費用負担についての相談（1）				
		社協事業利用	赤い羽根共同募金について（3） 歳末見舞い品について（1） 社協事業全般について（1） 社協の取り扱う募金全般について（1）				
		生活困窮者・貸付支援	生活費等に関する相談（3）				
		その他	CSR活動についての相談（1）				
令和元年度 事業実績	相談方法	電話	来所	訪問	その他	合計	
		12	10	1	2	25	
	相談者	一般住民	民生委員 自治会長	ボランティ ア関係	行政	合計	
		10	4	1	1	25	
		福祉施設 職員	団体関係	その他	えんがわ教室 利用者から		
		2	4	1	2		
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域住民からの相談ごとを、社協職員として一人ひとりが窓口となり、福祉なんでも相談として対応したことで、さまざまな疑問や相談内容があることが改めて視覚化できました。</li> <li>●関係機関を紹介するだけではなく、関係機関に直接連絡をとり同行訪問を行ったり、支援会議へ参加するなど、意図的・継続的な関わり方をすることができました。</li> <li>●「どこに相談したら良いかわからない」という事でご相談いただいた件数は昨年度と同様の件数となりましたが、各事業において類似の相談は数多く寄せられています。</li> <li>●いただいたご相談やお問合せ内容に応じて、継続的に相談支援を実施する事で、1回の相談では解決しない問題に対して、複合的にアプローチする事ができました。</li> </ul>						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●様々な相談内容に適切に対応できるようスキルアップを行い、相談支援事業の資質向上に努めています。</li> <li>●相談者は社協に何らかのかかわりのある方からの相談が多かったため、今後は積極的に地域へ出向く機会を作り、地域住民からの困りごとを直接キャッチできる仕組みづくりをしていく必要があります。</li> <li>●今後も社協職員一人ひとりが担当の枠を超えて、地域住民のあらゆる疑問や不安に対する相談窓口であるという意識をもつ必要があります。</li> </ul>						

### 7-③. 成年後見制度に関する事業

事業目的	認知症、知的障がい、精神障がいなどにより、判断能力が不十分な方々の権利を擁護することが、成年後見制度の目的です。 令和4年4月には中核機関受任予定であり、当協議会では本制度の普及啓発、申立支援等の利用促進、法人後見受任体制づくり、住民の後見活動や親族後見のサポートができる体制づくりに取り組んでまいります。
社協が行う 中核機関・ 法人後見の メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>●長年にわたり地域福祉の推進を担ってきた経験を活かし、築き上げてきた地域連携ネットワークを活用した支援ができます。</li> <li>●日常生活自立支援事業もしくは生活福祉資金等、他業務との兼務で担当職員を配置していることから、複合的な課題を抱えた方に対する有効な支援として期待されています。</li> <li>●法人による組織的な事務管理体制により安全性・信頼性を高めることができるとともに、長期間の後見業務を継続して遂行できます。</li> </ul>
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●令和4年度の中核機関設置に向けて住民への周知・普及とともに、職員の知識・スキルアップを図り実践に向けての取り組みが必要になります。</li> <li>●中核機関が普及することでひとり暮らし高齢者や複数課題を抱えた世帯など後見等希望者の増加が予測されます。関係機関や地域との連携ネットワークの構築を形成し、地域で支える仕組みづくりを進める必要があります。</li> <li>●後見業務を受任する方のほとんどが経済的困窮者であることから後見報酬のみでは事業運営は不可能であり、長期にわたり安定的な体制を維持するためにも財源の確保が大きな課題となっています。</li> <li>●後見希望者の増加が予想されるなか、今後親族後見人や市民後見人の必要性も求められてくることが予測されます。担い手の育成・サポート体制を構築していくことが必要です。</li> </ul>

### 7-④. 日常生活自立支援事業（権利擁護）

事業目的	判断力が十分ではない高齢者や障がい者に対し、福祉サービスの利用や日常的な金銭管理を通じて、安心した生活を送れるよう支援することを目的としています。																			
令和2年度 事業実績	<p>対応人数：28人 支援回数：平均37回／月</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; width: 15%;">対応者種別</th> <th style="text-align: center; width: 15%;">来所</th> <th style="text-align: center; width: 15%;">電話</th> <th style="text-align: center; width: 15%;">訪問</th> <th style="text-align: center; width: 15%;">合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">利用者</td> <td style="text-align: center;">106</td> <td style="text-align: center;">799</td> <td style="text-align: center;">293</td> <td style="text-align: center;">1198</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">関係機関</td> <td style="text-align: center;">310</td> <td style="text-align: center;">986</td> <td style="text-align: center;">431</td> <td style="text-align: center;">1727</td> </tr> </tbody> </table>					対応者種別	来所	電話	訪問	合計	利用者	106	799	293	1198	関係機関	310	986	431	1727
対応者種別	来所	電話	訪問	合計																
利用者	106	799	293	1198																
関係機関	310	986	431	1727																

令和元年度 事業実績	対応人数：20人 支援回数：平均 20回／月				
	来所	電話	訪問	合計	
利用者	55	370	265	690	
関係機関	237	558	184	979	
●民生児童委員1名、前民生児童委員4名、サポーター6名、その他1名の計12名の支援員で対応しております。 ●障がい者生活支援センターをはじめとする関係機関との連携により相談件数は増加しています。中核機関の設立とともに今後相談件数は増加が予測されます。 ●関係機関との連携を密にし、社会資源の活用もおこないながら地域とのつながりを視野に入れた支援を積極的に行いました。					
事業評価					
今後の課題	●今後、契約件数が増加することが予測されることから、担い手となる生活支援員の発掘・確保に努めます。 ●個々のニーズへの対応が増加する一方で、助成額は減額傾向で利用者負担が増えています。質の確保や財源確保に向けた整備が必要です。 ●本事業に対する理解を住民はじめ関係機関にも周知し、役割分担の明確化を図り、さまざまな支援を受けながら地域で生活ができる支援体制づくりが求められます。				

#### 7-⑤. 明和町生活困窮者自立支援事業

事業目的	複合的な課題を抱えた生活困窮者等の自立の促進を図るため、一次的な相談支援を行うと共に、関係機関との連携を取りながら自立支援を行います。				
令和2年度 事業実績	家計改善支援0件				
	来所	電話	訪問	合計	
利用者	43	169	18	230	
令和元年度 事業実績	家計改善支援2件				
	来所	電話	訪問	合計	
利用者	10	63	32	105	
関係機関	24	102	7	133	

事業評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今年度より一次相談窓口として広報を行い、又、明和町健康あゆみ課や三重県生活相談支援センターをはじめとする関係機関との連携を密にすることで、地域住民からの相談等支援、関係機関との相談件数も前年度比で倍増以上の実績となりました。</li> <li>● 新型コロナウイルス感染拡大に伴う社会情勢の著しい変化が生じた中、特例貸付業務等と円滑に連動しながら、関係機関との協働でスピード感をもって必要な支援を実施できました。</li> <li>● 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、住民ボランティアや企業と共に立ち上げた「OBENTO PROJECT」に代表される様に、民生委員の皆さんにもご協力いただきながら、生活困窮者支援を通じた地域づくりにも寄与する事ができました。</li> <li>● 上記等を通じ、これまでニーズ把握が進んでいなかった児童のいる若い世代の世帯とも途切れないと構築する事ができました。</li> </ul>
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 困窮者の中には複数の問題を抱えている家庭が多く、児童、障がい、高齢分野など多職種・他機関との連携強化、協働が今後ますます求められます。</li> <li>● 当事者が孤立することなく自立へとすすめるよう、継続的な支援、地域での支えあいや見守りができる仕組みづくりをさらに進めていく必要があります。</li> <li>● 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、なお一層、相談件数は増加する事が見込まれ、相談体制の強化・充実化が求められます。</li> </ul>

#### 7-⑥. みえ福祉の「わ」創造事業

事業目的	現在、生活保護受給者ではないが生活保護に至る可能性のあるもので、経済的に困窮し最低限度の生活を維持することができなくなる恐れのある方に対し、緊急的に食料支援や物品等の支援、就労活動にかかる交通費の助成支援をおこない、自立・再建の支援を目指します。	
事業実績	令和2年度	食糧支援：5世帯（7回） 緊急支援：1件 就労支援：0件
	令和元年度	食糧支援：5世帯（5回） 緊急支援：0件 就労支援：0件
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 三重県生活相談支援センター（県社協）と協働しながら、その他関係機関との連絡・調整を図り困窮者支援に取り組みました。</li> <li>● 緊急支援実施後も生活相談支援センターとの情報共有を図り、依頼があった場合には同行訪問をする体制も整えてきました。</li> <li>● 新型コロナウイルス感染症の影響により特例貸付を申請される方に対して、その生活状況に応じて、効果的に活用することができました。</li> <li>● 新型コロナウイルス感染拡大に伴う社会情勢の変化が著しく、1回の食糧支援にとど</li> </ul>	

	まらず、複数回の食糧支援を要する世帯も散見され、継続的支援における有効な支援ツールとして活用されています。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●緊急的な支援にとどまるのではなく就労支援や家計改善支援など早い段階から積極的なかかわりを進め、生活の立て直しができる支援体制づくりが必要です。</li> <li>●困窮から抜け出すことができない方々の早期発見ができるよう、地域でのつながりづくりの強化、ネットワークの構築が求められます。</li> <li>●複合的な課題を抱えた世帯が多いため、分野や機関を超えた連携が必要です。明和町生活困窮者自立相談支援事業等において、速やかに介入できる相談支援体制づくりを今後もすすめていきます。</li> </ul>

#### 7-⑦. 生活福祉資金の貸付

事業目的	資金の貸付と必要な援助や指導を行うことにより、その経済的自立や生活意欲の助成促進、在宅福祉や社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるよう支援します。			
令和2年度 事業実績	貸付実績	種類	貸付数(件)	貸付額(円)
		コロナ特例緊急小口 (10万)	5	500,000
		コロナ特例緊急小口 (13万)	1	130,000
		コロナ特例緊急小口 (20万)	58	11,600,000
		コロナ特例総合 (初回・45万)	15	6,750,000
		コロナ特例総合 (初回・60万)	27	16,200,000
		コロナ特例その他 (20万×2, 40万×1)	3	800,000
		コロナ特例総合 (延長・45万)	3 (6件中3件不承認)	1,350,000
		コロナ特例総合 (延長・60万)	13	7,800,000
		コロナ特例総合 (再貸付・45万)	1 (2件中1件不承認)	450,000
		コロナ特例総合 (再貸付・60万)	5 (9件中4件不承認)	3,000,000
		コロナ申請件数合計	139件	48,580,000
		教育支援資金 就学支度費	2	982,000
		教育支援資金 教育支援費	2	2,872,000
	相談実績	来所	電話	訪問
	利用者	216	492	22
	関係機関	16	182	7

平成元年度 事業実績	貸付実績	種類	貸付数(件)	貸付額(円)
		コロナ特例緊急小口	2	400,000
		教育支援資金 就学支度費	1	266,000
	相談実績	来所	電話	訪問
	利用者	15	53	14
	関係機関	5	83	3
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新型コロナウイルス感染症の影響が大きく相談件数は大幅に増加しました。</li> <li>●貸付相談を機に OBENTO PROJECT へつなぎ、子どもを抱える世帯へ継続時に関わることができました。</li> <li>●コロナ特例申請においては苦境に立たされている申請者に配慮し、時間外対応等速やかな申請へとつなぐことを心がけました。</li> <li>●要件が合致せず申請には至りませんでしたが、緊急小口、転宅費、葬祭費、福祉自動車購入費等への問い合わせもあり、その件数は増加しています。</li> </ul>			
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新型コロナウイルス感染症の影響による困窮は当面続いていることが予測されます。一方、申請件数が多くきめ細やかな支援ができず申請手続きのみで終わっているケースも多いのが現状です。</li> <li>●本制度の利用者は単に貸付だけで解決できるケースではありません。自立支援機関との連携強化が求められていることからも、貸付から償還が終了するまで、孤立することのない継続的支援、経済状況の早期立て直しに取り組む必要があります。</li> </ul>			

#### 7-⑧. 地域福祉金庫の貸付

事業目的	生活困窮者が生活を営む中で、不時の出費を必要とする場合に貸し付けることにより、円滑な社会生活をおくれるように支援します。				
事業実績	前年度 未償還額 (円)	貸付数 (件)	貸付額 (円)	償還額 (円)	未償還額 (円)
	令和2年度	232,000	25	765,699	476,706
	令和元年度	258,000	11	222,000	248,000
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>●貸付だけで終わらせるのではなく、関係機関と連携して継続的な自立に向けた支援に取り組んでいます。</li> <li>●新型コロナウイルス感染拡大に伴い、生活基盤の不安定な方や特例貸付の支給決定までのつなぎ生活費としての貸付件数が増加しています。</li> </ul>				

	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生活困窮者自立相談支援事業の一時窓口開設に伴い、生活に困窮している地域住民からの相談が増大した事に伴い、貸付件数も増加しています。</li> <li>●緊急的に生活費を必要とする相談者にスピーディーに対応する事で、窮地を支援することにも繋がっています。</li> </ul>
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新型コロナウイルス感染拡大という社会情勢の変化に伴い、短期的にも長期的にも生活基盤の安定化が見通せない借受人が多数存在し、計画的な償還が難しい状況が生まれています。</li> <li>●償還に伴う生活相談等も業務量の増加に伴い、きめ細やかな相談支援の展開が難しい状況が起こっています。</li> <li>●特に緊急性を要する貸付相談がその大半を占める中で、地域の民生委員との連携が難しい状況となっています。</li> </ul>

## 8. 福祉教育に関する事業

### 8-①. umouプロジェクト

事業目的	使用しなくなった羽毛製品を、貴重な資源として再生させるため、地域の人々が小学校の廃品回収時などに寄付し、小学生と「りんご」利用者が協力して回収作業を行うことで、地域住民も、小学生も、「りんご」利用者も、同じ地域で暮らす住民として、つながりを感じてもらえる一つの場となればという想いを持っています。 また、回収された羽毛製品をエコランドが買取り、募金として赤い羽根共同募金へ募金、もちろんその募金は小学校へ配分し子供たちが自分たちの福祉活動に使っていたことでさらなる福祉教育の充実になります。 さらに、羽毛製品の解体を「りんご」利用者が行うことにより、障がい者の就労支援にもつながっています。																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">小学校分</th> <th colspan="3">地域分</th> <th rowspan="2">合計 (枚)</th> </tr> <tr> <th>1kg 以上</th> <th>1kg 未満</th> <th>ダウンジ ヤケット</th> <th>1kg 以上</th> <th>1kg 未満</th> <th>ダウンジ ヤケット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和 2年度</td> <td>27</td> <td>6</td> <td>15</td> <td>26</td> <td>11</td> <td>21</td> <td>106</td> </tr> <tr> <td>令和 元年度</td> <td>40</td> <td>9</td> <td>38</td> <td>24</td> <td>4</td> <td>27</td> <td>142</td> </tr> </tbody> </table>								小学校分			地域分			合計 (枚)	1kg 以上	1kg 未満	ダウンジ ヤケット	1kg 以上	1kg 未満	ダウンジ ヤケット	令和 2年度	27	6	15	26	11	21	106	令和 元年度	40	9	38	24	4	27
	小学校分			地域分			合計 (枚)																													
	1kg 以上	1kg 未満	ダウンジ ヤケット	1kg 以上	1kg 未満	ダウンジ ヤケット																														
令和 2年度	27	6	15	26	11	21	106																													
令和 元年度	40	9	38	24	4	27	142																													
事業実績																																				
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>●毎年2回実施される各小学校の資源・廃品回収が新型コロナウイルス感染防止のため、春の開催が中止になったこともあります。</li> <li>●毎年PTA役員の方は交替するため、羽毛回収に関わったことのある地域の方が増えてきており、「羽毛製品回収=赤い羽根共同募金の活動」という赤い羽根共同募</li> </ul>																																			

	<p>金の PR 活動に繋がっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 今年度の小学校の資源回収は秋のみの実施でしたが、町民の皆さんに「羽毛製品の回収＝社協」という認知度は高まってきており、社協へ直接羽毛製品を持ち込まれる方が増え、地域回収分は前年度分より枚数が増加しています。</li> <li>● 資源回収の回収物の減少や新型コロナの感染対策のため、活動時間が短縮しており、ありんこ利用者さんと地域の皆さんが交流する時間も少なくなっています。</li> </ul>
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ありんこ利用者さんと地域の皆さんとのかかわりについて、資源回収時だけではなくかわりを持つまでには至っていないことから、学校で開催される福祉教育の場にありんこ利用者さんと一緒に参加出来る企画など、資源回収以外でも交流の機会が増えるような場を検討する必要があります。</li> <li>● 福祉協力校の活動の場面などで、共同募金の活用のされ方などを PTA の皆さんに紹介することで赤い羽根共同募金の PR 活動に繋げていきたい。</li> </ul>

## 8-②. 福祉協力校の設置

事業目的	小・中学校の児童・生徒に地域住民との交流など、福祉体験活動や、ボランティア活動を進めることで、さまざまな人々と自然に交流できる態度や、地域福祉への関心を育みます。
事業実績	<p>大淀小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の高齢者施設への訪問、交流活動→新型コロナウイルス感染症対策として、社会福祉施設等への訪問活動は自粛</li> <li>・ 「花いっぱい運動」実施、入学式・卒業式の式場を飾る</li> <li>・ 浜辺の集会にて全校児童が浜辺のごみ拾いを実施、なかよし班（縦割り班）にて砂の造形活動</li> <li>・ 「見守り隊（学校支援ボランティア）に感謝の気持ちを伝える会」実施</li> <li>・ 学校だより、学年だよりでの広報活動（浜辺の集会ボランティア、見守り隊に感謝の気持ちを伝える会、6年生奉仕作業）</li> <li>・ 子ども会へUMOUプロジェクトの還元</li> </ul> <p>上御糸小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学年・学校通信で活動紹介</li> <li>・ 特別支援学校に在籍する児童との交流学習を実施</li> <li>・ 地域の方々と交流（昔の遊び）</li> <li>・ 環境委員によるリサイクル活動</li> <li>・ 新入学予定児童へのプレゼント贈呈</li> <li>・ 三重県身体障害者総合福祉センターによるパラリンピック種目体験授業の実施（ボッチャ、ゴールボール）</li> <li>・ 環境美化活動（花を育て、自然を大切にする心を育む）</li> </ul> <p>下御糸小学校</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校だよりと学級だよりにて諸活動紹介</li> <li>・点字体験、名刺作り（4年生）</li> <li>・野菜の栽培体験（2年生）</li> <li>・資源回収活動</li> <li>・校舎花壇の整備、花を育て入学式・卒業式の式場を飾る</li> <li>・ボランティアグループの指導による綿の栽培、綿くり・糸つむぎ体験（1年生）</li> <li>・稻作体験にかかるお餅作り（5年生）</li> <li>・お茶に親しもう（5年生児童）</li> <li>・防犯ボランティアの方への感謝活動</li> <li>・UMOUプロジェクトへの協力</li> <li>・町内小学校との交流学習（4・5年生）</li> </ul>
斎宮小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級だよりの発行</li> <li>・地域の竹林整備ボランティアの方々と学習会、体験活動（4年生）</li> <li>・地区探検と清掃活動（2年生、清掃活動）</li> <li>・体験活動で交流したボランティアの方へ感謝の手紙</li> <li>・校内美化活動、花いっぱい運動</li> </ul>
明星小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童会主催いじめ防止を目指す「ピンクシャツ運動」（ピンク折り紙の掲示物）</li> <li>・うにの郷を訪問し自然環境保護活動について学ぶ（4年生）</li> <li>・学校新聞での活動紹介</li> <li>・地域の方が収穫されたお米の贈呈式で感謝の気持ちを伝える（5年生）</li> <li>・校内美化活動（花を植え、入学式・卒業式の式場に飾る）</li> <li>・特別支援学校の児童を迎える交流学習→感染症予防対策の為、中止</li> <li>・6年生への感謝の気持ちを伝える壁づくり（1～5年生）</li> <li>・昔の遊び道具作り（1年生児童）</li> <li>・障害者スポーツ体験「ボッチャ」（4年生）</li> <li>・環境美化学習、パッカー車の見学（4年生）</li> </ul>
修正小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級通信、学校だよりにて活動紹介</li> <li>・JA、地域の方々と大豆作り、豆腐作り体験</li> <li>・地域の方に地域に伝わる祭りや昔のことについて学ぶ</li> <li>・ありんこ利用の方とビデオレターとお手紙の交流</li> <li>・地域の方を招きハロウィンパーティーを実施</li> <li>・お世話になったボランティアに御礼と感謝を伝える</li> <li>・6年生に感謝の想いを伝える送る会を実施</li> <li>・全校児童で花を育て、入学式・卒業式の式場へ飾る</li> <li>・エコキャップ収集、アルミ缶の回収</li> <li>・町内小学校との交流学習会を実施</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節ごとの行事を全校生徒で実施</li> </ul> <p>明和中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・壁新聞にてボランティア活動紹介</li> <li>・「アフリカの田んぼ」への協力</li> <li>・校内美化活動・環境整備活動（花いっぱい活動、校内生活に関する環境整備）</li> <li>・炊き出し訓練の実施、子ども食堂への提供</li> <li>・健康対策作戦（なわとび作戦）</li> <li>・熊本県人吉市への支援（支援物資の発送等）</li> </ul>
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コロナ禍であり感染予防対策の為、計画していた地域の福祉施設への訪問や、地域の方々との対面での交流を実施することは難しかったですが、リモートや手紙での交流を実現されています。</li> <li>●地域のボランティアの方々との交流を通じ、感謝の心を育む活動をしていただいている。</li> <li>●地域の方々と共に自然に触れる体験を通じて、地元の自然を大切にする心、郷土愛を育む活動に力を入れていただいている。</li> <li>●農業体験をはじめ、様々な体験を通して日常ではなかなか体験出来ない活動を積極的に取り入れ授業を行っていただいている。</li> <li>●普段子供たちが接する機会が少ない方々を学校に招いて、子供たちの広い視野を育てる活動にも取り組まれています。</li> </ul>

### 8-③. 福祉体験教室

事業目的	地域のボランティアグループや、障がいを持つ当事者の生の声を聞くことや、「体験」を通じて理解を深めていただくために、福祉体験教室を実施しています。相手の立場になって考えたり、共感したりすることのできる温かい心、ボランティアなどの社会貢献をしたいという心を大切にし、「ともに生きる力」を育むとともに、自立した個人が、互いにその存在を認め合い、関わりを大切にしながら生きていくという「地域共生社会」の考え方を大切にしています。また将来にわたって自分が住み慣れた地域の福祉に対する理解や関心を持ち、地域社会の中で一人の住民として成長することにより、自ら地域のネットワークづくりに積極的に関わろうとする意識を高めることを目的としています。		
事業実績		体験内容	小学校名
	令和2年度	点字体験	下御糸小学校 4年（16名）
		障がい者スポーツ 体験（ボッチャ・ゴ ールボール）	上御糸小学校 4年（36名） 明星小学校 4年（41名）

		アイマスク・白杖 車いす体験体験	大淀小学校 上御糸小学校	4年（14名） 4年（43名）
令和元年度	点字体験	高齢者疑似体験	斎宮小学校	4年（68名）
			大淀小学校	4年（14名）
			上御糸小学校	4年（42名）
			斎宮小学校	4年（68名）
			修正小学校	4年（10名）
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>●今年度は3校から依頼がありました。コロナ禍でもあり、昨年度に比べ依頼件数は少なかったですが、点字体験以外に新たに障がい者スポーツ（ボッチャ・ゴールボール）の体験授業の依頼をいただきました。</li> <li>●障がい者スポーツ体験については、スポーツ指導員の方以外にめいわサポーターのメンバーにも参加、協力いただいて実施することで、交流の場をつくることができました。</li> <li>●点字体験では、ボランティア団体の活躍と広報の場になり、ボランティア団体活動の活性化につながりました。</li> <li>●昨年度に引き続き、近鉄明星列車区で駅員の方を対象に高齢者疑似体験、白杖体験、視覚障がい者との意見交換会を実施することができました。</li> <li>●近鉄明星列車区においても、当事者である障がい者との意見交換の機会を通じ、相互に理解する学びの場をもつることができました。</li> <li>●福祉出前授業を通じて学校や子供たち、企業と社協とのつながりをもつことができました。</li> </ul>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●今後も町内各小学校で実施できるよう、PR活動を行っていきます。</li> <li>●当事者、めいわサポーター、民生委員、ボランティア団体等の地域住民の協力を得ながら共に参加していただける体験授業を実施していきます。</li> <li>●とこわか国体やパラリンピックの開催が予定されており、次年度も障がい者スポーツ体験の依頼が期待できます。三重県身体障がい者スポーツセンターとスポーツ指導員の協力を得ながら実施していきたいです。</li> <li>●体験授業としては、一定の効果を感じていただける内容になっていますが、この体験を通じて学んでいただいた体験後の子どもたちの成長に合わせた、さらなる学びの機会につなげ、学校と継続したつながりが持てるよう工夫していくことが必要です。</li> </ul>			

#### 8-④. ボランティア・サマースクール

事業目的	夏休み期間を利用して、小学生を対象にボランティア・サマースクールを実施しています。福祉施設等でボランティアを体験することで、思いやりの心を育むとともに、ボランティアを始めるきっかけづくりや、ふれあい、交流することにより、みんなが共に生きることを学ぶことを目的としています。		
事業実績	開催日数	参加人数	内 容
	令和2年度		
			明和手話サークルによる手話体験教室とおやつ作り
事業評価	●例年は、日頃小学生が授業や学校生活の中で接することの少ない地域の聴覚障がい者の方や普段経験することの少ない体験型の事業を開催しておりますが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止しました。		
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新型コロナウイルス等の感染状況の推移を見守りながら、開催の有無を検討していく必要があります。また、感染症対策を行いながら開催できる方法を検討していく必要があります。</li> <li>●今後も様々なボランティア体験を通じ、共生、思いやりの心を育める内容にしていくことが必要です。</li> <li>●新規参加者等、より多くの子どもにボランティア体験をしていただけるよう内容の工夫と共にPR活動を行っていきます。</li> </ul>		

#### 9. ボランティアセンター運営事業

事業目的	地域住民のボランティアに関する理解と関心を深めるとともに、個人ボランティアや団体ボランティアの育成及び活動の援助を行います。		
	令和2年度	明和町点字サークル：点字指導（小学校 1回） おはなし小槌：大型紙芝居・読み聞かせ（ふるさと会 7回・いつきのみや歴史体験館 1回） 明和鈴の音会：広報めいわ録音（5月のみコロナ感染予防の為中止 1ヶ月実施） コーラス斎王：コーラスのイベント（町外 1回） 業平夢太鼓：太鼓演奏（イオン明和店 1回） 琴の葉：大正琴演奏（えんがわ教室 1回） おたがいさん：生活支援ボランティア（5回）	

		<p>横笛倶楽部：横笛の演奏・マジック（町外イベント 4回      イオン明和店 3回、えんがわ教室 2回、      明和観光商社イベント 1回）</p> <p>明和マジッククラブ：（えんがわ教室 3回、町外託老所 2回）</p> <p>アラピカケ：（えんがわ教室 1回）</p> <p>ギターと篠笛を楽しむ会：（えんがわ教室 1回）</p> <p>楽しい読み聞かせの会：（えんがわ教室 1回）</p> <p>カントリーずう：（えんがわ教室 6回）</p> <p>ご近所サロンカフェ寺ス：サロン開催（32回延べ人数276名）</p> <p>竹茗舎：学校訪問（1回）イベント（10回）</p> <p>つどい子ども食堂：OBENTO PROJECT活動（6月開始77回）      イベント開催（6回）</p>
事業実績	令和元年度	<p>明和の里：117名（21回）</p> <p>ひまわり会：防災食を活用した研修（1回）</p> <p>明和町点字サークル：点字指導（小学校・人権センター・社協ふれあい祭り）（9回）</p> <p>おはなし小槌：大型紙芝居・絵本の読み聞かせ（ふるさと会館等）（16回）</p> <p>明和鈴の音会：広報めいわ録音（12ヶ月）</p> <p>「こんにちはボランティアさん」ナレーション（全2回）</p> <p>コーラス斎王：コーラスによる幼稚園・保育園等訪問・祭りイベントへの参加（7回）</p> <p>業平夢太鼓：太鼓演奏 福祉施設訪問・イベント参加（10回）</p> <p>ドンド花2：踊りによる施設訪問（3回）</p> <p>防災ボランティア・プラス1：視察研修・防災訓練参加      防災講座開催（11回）</p> <p>琴の葉：大正琴演奏 福祉施設・サロン訪問（16回）</p> <p>傾聴ボランティアミミちゃん：傾聴活動      福祉施設訪問（6施設190名）</p> <p>おたがいさん：食事のつどい（4回）</p> <p>生活支援・その他のボランティア（52回）</p> <p>Cherry：オカリナ演奏 福祉施設訪問（20回）</p> <p>Grape：オカリナ演奏 施設訪問（13回）</p> <p>横笛倶楽部：横笛演奏 福祉施設訪問（32回）</p> <p>明和マジッククラブ：施設訪問、イベント参加（48回）</p> <p>ご近所カフェ寺ス：サロン開催（42回延べ参加人数1,059名）</p> <p>アラピカケ：明和の里・えんがわ教室（8回）</p> <p>ギターと篠笛を楽しむ会：えんがわ教室（7回）</p>

	カントリーハウス：えんがわ教室（8回）
--	---------------------

## 10. 一般介護予防事業

### 10-①. えんがわ教室

事業目的	65歳以上の高齢者が、要支援・要介護状態にならないように、必要に応じた介護予防のための事業利用を通じ、その居宅および地域において自立した活動的で生きがいのある日常生活を営むことができるよう支援します。						
事業実績	延べ人数 (実人数)	令和2年度 (127日)	大淀 ①	大淀 ②	大淀 ③	上御糸 下御糸	合計人数
			292 (21)	266 (16)	94 (15)	139 (11)	1,814 (149)
			いつき	勝見	明星 ①	明星 ②	
			268 (21)	290 (26)	240 (20)	225 (19)	
			大淀 ①	大淀 ②	上御糸 下御糸		
	(開催日数)	令和元年度 (154日)	452 (24)	532 (30)	247 (15)		2,800 (151)
			いつき	勝見	明星 ①	明星 ②	
			384 (21)	442 (22)	443 (24)	300 (15)	
			65~74	75~79	80~84	85以上	合計人数
事業評価	年齢 (歳)	令和2年度	3	29	52	55	139
		令和元年度	11	41	56	43	151

●新規利用申込者は例年より少なく、「コロナが気になるので家にいたい。こんな時期なので人が多くいるところへ知り合いを誘い辛い」など現状維持の傾向が強かったです。  
参加者は基礎疾患を持っている方が多く、個人・ご家族の判断で感染対策のため長期欠席されている方、利用者の高齢化によりご家族の希望で介護保険事業所へ移行され、利用中止となった方も多くありました。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>●運動指導については、感染に注意しつつも楽しむことをテーマに認知症予防となる二重課題に取り組むことが出来ました。体力測定では理学療法士から一言や、アドバイスをいただきました。感染対策から参加者同士がコミュニケーションをとる体操は取り入れられませんでした。自宅で出来る運動プログラムを実施し、毎回職員が行う簡単な運動も行いました。自宅での時間が増える中で指導中に使用した棒体操の棒を職員が作り参加者全員へ新聞紙棒・体操プリントを配布し、運動機能の維持を意識してもらいました。</li> <li>●口腔衛生指導ではフレイルやサルコペニアについても学び、口腔機能の向上が全身の健康につながることを学びました。自宅でも取り組めるように、現状に適した口腔ケアテクニックや義歯の取り扱いなど繰り返し実施しました。また、生活の中での疑問にわかりやすく答えていただきました。</li> <li>●栄養指導では、感染症に負けない免疫力やフレイル予防になる食事について学びました。普段の生活に取り入れられる料理について参加者同士で話し、楽しくバランスの良い食事について考えることが出来ました。調理実演が出来なかった分、レシピを配布して自宅で作った感想を教えてもらうなどの工夫をしました。</li> <li>●音楽療法では誰もが聞き覚えのある曲をアレンジし、音楽に合わせてストレッチや楽器を鳴らすなど楽しく取り組める工夫がありました。家ではあまり喋らないという方も声を出すことが出来て嬉しそうでした。難しいことは出来ない・不安だという方も楽しく取り組むことが出来ました。また、歌うことで周りとのコミュニケーションをとりやすくなり、笑顔が広がりました。</li> <li>●脳トレとしては、毎回宿題プリントとして簡単な計算、クイズ、間違え探しなどを配布しました。自宅にいる時間が増えた方が多く宿題プリントは大変喜ばれました。</li> <li>●その他、地域の各種ボランティアの方々も感染対策へ協力いただき、楽しく教室を進めることができました。</li> <li>●今年度に関して、新型コロナウイルスの影響で、予定日程184回のうち57回が中止となりました。中止期間中は自宅訪問などで参加者一人一人とじっくり話すことが出来ました。毎日の体温測定を実施してもらい感染対策を意識してもらうことにつながりました。長期欠席されている方へは電話や訪問での状態把握、希望される方へは脳トレプリント等の配布を行いました。</li> </ul>
今後の 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●参加者の機能向上、意欲向上が期待できるような内容のプログラムを作っていきます。</li> <li>●会場によって、参加者の数、年齢に幅があるため、その会場の参加者にあった内容のプログラムを作っていきます。</li> </ul> <p>また、参加者の高齢化により視力・聴力の低下があります。参加者の機能に合わせたプログラムを作る必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●参加者の中には介護保険事業とえんがわ教室（介護予防）の境界線上の方もおり、えんがわ教室への参加を続けるか、介護保険への移行をすすめるかという判断が必要です。</li> <li>●参加者の高齢化に伴い送迎が必要な参加者が増えています。現在2便の送迎を行っていますが、今後送迎が必要な参加者が新規利用を希望された場合、送迎をどうするか検討が必要です。</li> </ul>

## 10-②. 筋力・脳力あっぷ教室

事業目的	生活機能向上を目的に「運動器の機能向上」、「栄養改善」、「口腔機能向上」、「脳トレーニング」を中心に専門職による指導や支援を実施し、生活機能維持向上していくことを目的とする。少し機能が低下しても早期対応にてサービスを利用していく、心身の機能維持向上をしていくことを目的としている。					
事業実績		開催日数	延べ人数（実人数）			
			男性	女性	合計	サポーター数
事業評価	令和2年度	91日	441 (154)	1,571 (538)	2,012 (692)	465 (179)
	令和元年度	127日	670 (203)	1,543 (458)	2,213 (661)	284 (149)
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新型コロナウィルス感染症の影響により、6月からの開催となりました。またその後も感染症の拡大により、その都度開催の休止を余儀なくされました。</li> <li>●年間の開催予定が火曜日45回、木曜日46回、金曜日46回のところ、新型コロナウィルス感染症の影響により事業休止となり、結果として火曜日30回、木曜日30回、金曜日31回の開催となりました。</li> <li>●教室休止の期間は、運動と脳トレのプリントをご自宅へ送付し、取り組んでいたくよう電話での声かけも行いました。</li> <li>●令和3年2月には、心身が低下していないか心配される方を中心に訪問し、体調確認や日頃のご様子を伺いました。</li> </ul> <p><b>【筋力あっぷ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●教室休止中も運動のプリントを活用し、身体機能を維持に努力していただき、教室再開時には、皆様元気に来所されました。</li> <li>●人との交流が減少し、寂しさを感じる方もありましたが、教室で学んだ体操や散歩等を習慣化し、ご自宅でも身体機能維持に取り組むことが出来ました。</li> <p><b>【脳力あっぷ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●脳トレプリントを負担に感じる方もみえましたが、概ねの方が楽しみにされ、自宅で有意義に使っていただいた様子です。</li> <li>●教室での一桁計算、数字盤は同じものを繰り返して実施しますが、音読は飽きずに楽しんで取り組めるよう毎回新しい文章を用意しました。</li> <li>●脳トレプリントは全員同じ問題で実施し、難しいと感じる方には、サポーターについて、スタッフからもヒントをだしながら、一人で考えこまづ楽しく取り組めるよう配慮しました。</li> </ul> </ul>					

	●楽しさ、笑いを求める声も多く、コロナ禍の鬱々とした気分を吹き飛ばす仕組みが必要です。
--	---

## 11. 地域生活支援事業（障害者総合支援法）

### 11-①. 手話奉仕員養成研修事業

事業目的	手話を第二言語として自然な形で習得できる指導方法（直接教授法「ナチュラル・アプローチ」）を用いて奉仕員を養成し、聴覚障がい者などへの理解を深めるとともに、明和手話サークルと協働し、聴覚障がい者の社会参加を援助する人材の育成を目的としています。	
事業実績	令和2年度	入門課程 開催日数：全23回 名簿登録者人数：14名 8割以上の講座受講者：8名（12名基礎課程受講へ）
	令和元年度	基礎過程 開講日数：全30回 名簿登録人数：8名 8割以上の講座受講者：4名
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>●2期に比べて家族同士、友達同士の申し込みがあり、広い世代の定員を満たす参加者がありました。</li> <li>●新型コロナウイルス感染防止の為、受講生と講師の距離をとったり、マウスシールドや飛散防止の衝立などを設置したことにより、光の反射などが視界の妨げになり、受講生の学びの障がいになる事が多く、講師と直接の接する授業でありながら、講師と受講生に伝わりにくい内容となっていました。</li> <li>●新型コロナウイルス感染拡大により、期間中事業を休止することになり、受講生の学習レベルやモチベーション維持が難しい状況になりました。</li> <li>●コロナ禍での学習を考慮して、初めて動画での復習を実施したところ受講生には好評で、学習が遅れた分を家庭学習で補うよう配慮しました。</li> <li>●新型コロナウイルス感染拡大により、地域のろう者との交流会の回数が減ってしまいましたが、ご参加いただく地域のろう者の人数を増やし、時間も30分延長したことで、例年以上に受講生とろう者が深く交流が持つことができました。</li> </ul>	
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●講座が平日の夜のみの開催であり、日程の都合で学べない方がいるため、手話奉仕員の担い手を生み出すという点からは、今後の日程については検討する必要があります。</li> <li>●基礎課程を修了した受講生が、身に付けて頂いた手話を活かし、さらに深めていく仕掛けや取組を検討する必要があります。</li> </ul>	

## II. 令和2年度 各事業利用実績

### 1. 居宅介護支援事業プラン作成実績

(実人数：人)

提供月	要支援 1		要支援 2		事業 対象者 数 ケアマ ネジメントA	予防+A合計 ケアマ ネジメントA	居宅介護支援				総合計 介護 合計		
	予防 ケアマ ネジメントA	要支援 ケアマ ネジメントA	予防 ケアマ ネジメントA	要支援 ケアマ ネジメントA			要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4			
4月	1	5	18	16	1	41	63	46	29	20	12	170	211
5月	2	5	18	18	1	44	62	46	31	21	12	172	216
6月	1	5	19	16	1	42	66	47	31	21	13	178	220
7月	1	5	19	15	1	41	67	44	32	20	14	177	218
8月	1	5	20	14	1	41	66	45	32	21	13	177	218
9月	1	4	21	13	1	40	64	50	34	21	12	181	221
10月	1	4	19	15	1	40	61	51	34	22	11	179	219
11月	1	5	20	15	1	42	59	51	34	21	10	175	217
12月	1	4	19	12	1	37	57	55	35	19	9	175	212
1月	1	4	19	13	1	38	54	52	38	19	11	174	212
2月	1	4	16	16	1	38	56	51	34	22	12	175	213
3月	1	5	14	16	1	37	58	50	30	17	12	167	204
合計	13	55	222	179	12	481	733	588	394	244	141	2,100	2,581
令和元年度	8	100	192	198	109	607	739	650	323	218	121	2,051	2,658

2. 高齢者通所介護事業利用実績

(延人數：人)

提供月	稼動日数	総合事業			介護サービス			合計
		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	
4月	22	0	43	251	113	137	58	629
5月	21	0	36	239	104	127	45	571
6月	22	0	52	281	118	138	75	694
7月	23	0	55	293	111	141	86	718
8月	21	0	46	269	119	135	103	692
9月	22	0	54	256	136	141	95	704
10月	22	0	56	263	142	146	84	723
11月	21	0	69	234	152	141	74	699
12月	21	0	51	226	163	143	58	671
1月	20	0	45	209	151	145	60	633
2月	20	0	47	224	141	141	58	638
3月	23	0	49	246	158	163	66	712
合計	258	0	603	2,991	1,608	1,698	862	322
令和元年度	258	36	582	2,943	2,116	1,758	824	498
								8,757

3. 障がい者福祉サービス事業（ありんご）利用実績

4. 地域活動支援センター事業利用実績

(延人数:人)

提供月	稼働日数	生活介護	就労継続支援B型	合計
4月	22	433	508	941
5月	21	513	426	939
6月	22	533	508	1,041
7月	22	543	499	1,042
8月	21	478	442	920
9月	22	520	483	1,003
10月	22	498	533	1,031
11月	21	483	497	980
12月	21	492	519	1,011
1月	20	457	471	928
2月	20	471	421	892
3月	23	551	464	1,015
合計	257	5,972	5,771	11,743
令和元年度	258	6,330	6,252	12,582

・日中一時支援事業  
(延人数:人)

提供月	障がい者	障がい児	合計
4月	0	0	0
5月	0	0	0
6月	0	0	0
7月	0	1	1
8月	0	2	2
9月	0	2	2
10月	0	2	2
11月	0	2	2
12月	0	2	2
1月	0	2	2
2月	0	2	2
3月	0	2	2
合計	0	17	17
令和元年度	0	79	79

5. 指定特定相談支援事業所サービス等利用実績

(実人数:人)

提供月	特定相談支援		障害児相談支援		合計
	利用支援	経営支援	利用支援	継続支援	
4月	24	24	8	9	65
5月	10	23	7	11	51
6月	13	30	3	10	56
7月	17	21	6	6	50
8月	15	28	6	5	54
9月	13	26	4	6	49
10月	21	21	7	4	53
11月	16	26	7	8	57
12月	9	30	9	5	53
1月	10	26	7	8	51
2月	12	27	6	7	52
3月	20	28	13	8	69
合計	180	310	83	87	660
令和元年度	172	313	104	106	695